

中学生によるゆめ会議

私たちが描く行方市の将来像
にんな市にしてください



班ごとに提案内容をまとめました

行方市の将来のまちづくりについて、地元の中学生と市幹部が懇談する「ゆめ会議」が、8月8日麻生庁舎市長室において、開催されました。市立中学校4校（麻生中、麻生一中、北浦中、玉造中）から参加した3名ずつ計12名の中学生は三つの班編成により、それぞれテーマごとのまちづくり施策を話し合いました。午後から約1時間の討議を経て、班ごとに提案内容をまとめ、それぞれが思い描いた夢を参加者一人一人から坂本市長へ提案がなされました。「保健医療福祉・教育」をテーマとした第一班がらは、次の提案がありました。

麻生中と麻生一中の合併が必要ではないか。なめがた地域総合病院の医師不足の解消を欲しい。高齢者、障害者、児童などの福祉向上のための施設整備や環境整備が必要でないか。工業での発展ではなく、農業での発展を目指して欲しい。農業体験や農家レストランもどうか。ショッピングセンターの立地や商工業振興のための道路整備が必要ではないか。フィルムコミッションの活用や鹿島アントラーズホームタウンの利活用などで市をPRしてはどうか。「生活環境・社会福祉」をテーマとした第三班がらは、次の提案がありました。



真剣に坂本市長の話聞く中学生

「産業」をテーマとした第二班がらは、次の提案がありました。工業での発展ではなく、農業での発展を目指して欲しい。農業体験や農家レストランもどうか。ショッピングセンターの立地や商工業振興のための道路整備が必要ではないか。フィルムコミッションの活用や鹿島アントラーズホームタウンの利活用などで市をPRしてはどうか。「生活環境・社会福祉」をテーマとした第三班がらは、次の提案がありました。インターネット光ケーブルの誘導など情報格差の是正が必要でないか。高速道路はじめ道路整備や花壇などで沿道美化の推進をしてはどうか。新しい交通システムなどで市民の利便性の向上を図りたい。それぞれの中学生の提案に対して、市の考え方や取り組みなどを坂本市長らが回答しました。中学校の合併については、中学生の身近な話題であり、「早めに合併を進めてはどうか」「また、名称はどうするか」「など踏み込んだ再質問もありました。農業を中心にするべきとの意見に対しては、「せり、エシャレット、みつばが全国一」と紹介され、「提案のように進めていきたい」と回答。交通問題では、「循環バスや乗り合いタクシーなどの新



それぞれが思い描かれた夢を提案しました

しい交通システムを早ければ来年度から運行していきたい」と回答がなされました。さらに、坂本市長から「総合計画の目標年次である10年後には皆さんは立派な社会人として活躍しているはず。皆さんの夢のある意見をできるだけ取り入れていきたい」と話がありました。「ゆめ会議」は、昨年に続き、二回目。昨年度の提言は、市の総合計画基本構想を策定する参考としました。今回は具体的なまちづくりの施策提案として、この懇談会の後に市の担当部署へ伝達され、具体的な事業検討などがなされる予定です。

参加された中学生

- 一 班
 - 野口 孝太さん（麻生中）
 - 宮内 祥平さん（麻生中）
 - 武田 茜さん（北浦中）
 - 山口 梨嘉さん（玉造中）
- 二 班
 - 中村 義季さん（麻生中）
 - 矢幡佳那子さん（麻生中）
 - 鬼澤 大地さん（北浦中）
 - 田口 絢萌さん（玉造中）
- 三 班
 - 志村 佳吾さん（麻生中）
 - 永作 尚己さん（麻生中）
 - 尾高 英治さん（北浦中）
 - 成島 千尋さん（玉造中）



【市の花】
ヤマユリ
(山百合)



【市の木】
イチヨウ
(銀杏)



【市の鳥】
シラサギ
(白鷺)